

## 中央アジア/コーカサスの若手医療従事者が 熊本赤十字病院を訪問し、 災害医療と看護について学びます

中央アジア/コーカサス地域はソ連からの独立以降、経済体制の移行や社会インフラの再構築等の混乱により、医療・保健分野でも多くの問題を抱えています。各国の経済指標と比較して新生児死亡率や妊産婦死亡率は高く、医療従事者の能力開発や人材育成が必要とされています。

11月4日から始まった本研修では、各国の若手医療従事者（小児科医、産科医、看護師、助産師）を対象に、講義や見学などを通して日本の母子保健の精度や実施体制を学ぶことにより人材を育成し、各国の母子保健分野に貢献することを目指しています。

本研修はJICA九州が企画し、主に久留米市の聖マリア学院大学にて行いますが、11月14日（木）は熊本赤十字病院を訪問し、同院看護部・国際医療救援部より、2016年の熊本地震の経験に基づく同病院の災害への備え並びに災害時の対応について講義を受ける予定です。是非、取材をご検討ください。

○研修コース名：青年研修 中央アジア／コーカサス 母子保健実施管理

○研修期間：2019年11月4日（月）～2019年11月21日（木）

於 聖マリア学院大学 他

○研修参加国（6か国・14名）：アゼルバイジャン、ジョージア、カザフスタン、キルギス、トルクメニスタン、ウズベキスタン

○取材対象日程：（取材申し込みは、以下問い合わせ先までご連絡ください）

講義・視察先	日時	場所
災害医療・看護～熊本赤十字病院における災害への備え並びに災害時の対応（講義）	11月14日（木） 9：30～12：30	熊本赤十字病院（熊本市長嶺南 2-1-1）

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州 研修業務課 中野、中岡  
 TEL: 093-671-8347 FAX: 093-671-0979